

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイサービスfuwaRi		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		2025年 12月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 12月 19日		2025年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児ひとりに対し1人以上のスタッフを配置し支援を行っている。	様々な医療的ケアを必要としたり、体調が変化しやすいお子さまが多く、保育士や児童指導員等と看護職員との連携を取りながら、利用児様の状況に合わせた支援を実施しています。またその日の体調に合わせながら無理なく支援できるように配慮しています。	日々保育士や児童指導員、機能訓練職員、看護職員間で情報共有し、支援内容だけではなく個々の体調の体調に配慮した支援計画を提供できるように対応を行っています。
2	安心・安全に過ごすことのできる環境づくり	医師の指示書をもとに個別ケアシートを作成して対応するだけでなく、日々の変化をご家族と共有し、必要があれば医療機関との連携を取りながら支援しています。また個々の状態に合わせた活動と休息の時間をとることができるよう配慮しています。	ヒヤリハット事例があった際にはスタッフで速やかに共有し対応策を検討周知していきます。また医療機関との連携を十分に先行対応を行っています。
3	利用者やご家族の意向を尊重した支援の実施	ご家族の意向や本人の状態をふまえて個別にケアシートを作成し個々の状態に合わせた医療的ケア、安全に配慮し統一した医療的ケアを実施できるようにしています。また体調を見ながら無理なく活動を行えるよう取り組んでいます。集団活動については体調により小集団での活動へ変更するなど個々の状況に合わせた取り組みを行っています。	体調やタイミングに合わせて十分に活動に取り組みめるよう保育士・児童指導員だけではなく看護職員の療育への対応のスキルアップを行うことができるよう勉強会・研修会などを検討していきたいと思ひます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こども園や児童館との交流や障がいのない子どもとの交流の機会も持つことができていない	利用児の多くが医療的ケアが必要であり、また感染症にかかると重症化しやすいという点から外部との交流をする機会を簡単に持てずいます。	年度末に利用児様のご家族やご兄弟との交流の機会をつくる取り組みを企画しております。感染症の流行が少ない時期などに少人数での交流や、定期的に交流機会を持てるよう検討していきます。また他の家族やご兄弟との交流を持てる場をつくることできるよう努めてまいります。
2	定期的な父母会の開催ができていない	父母会は不定期には開催していますが、1日を通して利用児がいることが多く、開催場所の確保が難しい日が多く機会を持てずいることが要因と考えます。	開催する時間帯の工夫や、少人数での開催など検討し定期的な開催ができるようにしていきたいと思ひます。年度末に家族交流会を企画しているため、今後定期開催できるよう検討していきます。
3	利用者の状態・人数により狭さを感じてしまうことがある	利用児の多くはバギーを使用していることや、横になって過ごすことも多いためそのためのスペースを確保していることにより空間が狭く感じてしまうことがある。	バギーの置き場の工夫や、時間帯によって横になって過ごすためのスペースを確保できるようにし、十分に活動できるような場所の確保を行っています。